



埼玉のぞみの園 広報誌



発行 社会福祉法人埼玉のぞみの園 埼玉県深谷市本田3343 発行責任者 理事長 榎澤正範

公的資格を取得できる学校が設置されました!

この度、2024年5月に公的資格を取得できる学校が本法人に設置されました。その名も「ケアスクールのぞみ」です。こちらで取得できる資格は介護福祉士国家試験に必須な「介護福祉士実務者研修」となります。より質の高い介護サービスを提供するために、実践的な知識と技術の習得も目的とされています。

1期生の受講者数は法人職員が11名、外部受講者が4名です。申し込みの段階では募集人数を超え、厳選なる抽選にて受講生が決定いたしました。

5月よりe-ラーニング(自宅学習)が始まり毎月期日までのレポート提出が必須です。また、8月からはスクーリングが開始となり本法人「春陽の里」の地域交流室で行われております。

初日は座学が中心となり2日目以降は実践的な支援も取り入れながら進んでいます。担当して下さる石内講師の元、受講生全員が良い結果となるよう引き続き頑張りたいと思います。(松本)



配布された参考書

スクーリングの様子(1日目・2日目)

～1日目～

みなさん長丁場にも関わらず真剣に授業を受けています。



～2日目～

事例に沿って実践します。実際に動いてみると上手く言葉が出なかったりかなりの練習が必要です。

開校の挨拶

【5月の開校時には榎澤理事長より開校のご挨拶をいただきました。】

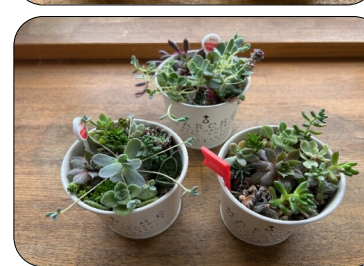
「皆様の日頃の業務におけるご努力に感謝するとともに、薫風香る今日の日から皆様方が新たな高みにチャレンジされることに敬意を表します。仕事をしながらの勉強は決して楽なことではありませんが、法人内の多くの先輩方が既に同様の道を歩まれ、一段高い景色を目にされています。皆様も健康に留意され、毎日を大切に積み重ねられて、来春には大輪の花を咲かせて頂きますようご期待申し上げます。吉報をお待ちしております。」

おすすめ商品紹介コーナー



妻沼つくし

【商品名】
多肉植物
【金額】
500～1,000円



プレゼントや記念品にいかがですか?
つくしでは多肉植物以外にもドレッシング作りなども進めています。また随時お知らせをしていきます!

1束200円

薪(まき)販売中!



キャンプやBBQにどうぞ

長さ30cmにカット

第2春日園より1束12～20本ほど入りますよ。



新人職員紹介



渡邊 聡(わたなべ さとし)

配属:春陽の里

- 趣味・特技
キャンプ、漫画、アロマ、麴
- 私の推し
TEN SONG
- 意気込み
仕事を早く覚え、利用者様に迷惑のかからないように支援します。



秋吉 ひなた(あきよし ひなた)

配属:春日園

- 趣味・特技
イラストを描くこと
- 私の推し
シマエナガ
- 意気込み
皆さんと笑顔で活動できるよう努めてまいります。

暑さ対策 ～地域によって違うの?編～

- ・こまめに水分補給をしています。(150ccぐらいずつ)
- ・屋外では熱を吸収する黒色系の素材を避け、日傘や帽子などで日差し対策を行っています。
- ・普段の生活ではゆったりした衣服にし、襟元をゆるめ通気をよくしています。
- ・すだれ、よしず、緑のカーテン(へちま、ゴーヤ、キュウリなど)を用い日差しを防いでいます。
 - ・玄関前やベランダなどのコンクリートやアスファルトに打ち水(水をまく)をして気化熱で周囲の温度を下げます。
 - ・汗を吸いにくいワイシャツやブラウスの場合は吸汗・速乾性の素材を着ています。
 - ・冷却グッズを使っています。(クールネックバンド等)
 - ・首や頭に水で濡らしたスカーフやバンダナを巻き、気化熱で体温を下げています。

地方出身の職員さんにインタビューしました!

法人ご寄付ご協力者様

順不同・敬称略にてご容赦願います。

島田 茂 様
田沼 大輔 様

福祉向上のため大切に使用させていただきます。
令和6年4月～令和6年7月末現在

スタッフ募集のお知らせ

【募集内容】
正職員、パート、ボランティア
詳細は総務部までご連絡ください。

【連絡先】
(電話)048-594-6511

6月7日(金) 法人レクを開催しました！

今年は春陽の里ご利用者の選手宣誓でスタートです！全員での参加が難しい事業所もありましたが、混合4チームで協力しながら『2人2箱リレー』『玉入れ』と、白熱した競技が繰り広げられました。

最後には、恒例のお楽しみ競技『パン取り競争』もおこない、皆さん良い笑顔で楽しんでいました。



そして、今回の盛り上がりポイントはなんといっても『職員仮装リレー』！第2春日園では、萩原施設長が分身!?して素晴らしい走りを見せてくれました！また来年も楽しみですね♪

(手塚)



きらっとさんインタビュー

今回ご紹介するのは、妻沼つくし利用者の真中穂奈美さんです！作業所でのことや、プライベートなことまでお答えいただきました！



Q つくしで頑張っていることは？

アクアリネン(派遣)のお仕事。(リネン袋のたたみ、室内での衣類のたたみ)

Q すばり、工賃の使い道は？

自分が食べるパンを買っている。

Q 自分の好きなところは？

色々な人に優しくしているところ。

Q 最近の楽しみは何ですか？

お母さんとの買い物が楽しい。

真中穂奈美さん、ありがとうございました！派遣の仕事を頑張って、自分の食費をまかなっているしっかりもので優しい性格が伺えましたね。次はこれを見ているあなたの番かも…!?

ケアスクールのぞみ

【M・Tさん】

①支援をしている中でいろいろな場面での対応力を高めたいと思った。また正しい介助方法を学びたいと思ったからです。
②スキルアップできるように1つでも多くの知識を習得できるように頑張ります。

【Y・Aさん】

①上長からすすめられて。
②不安もありますが、資格取得に向けて頑張ります！

【O・Sさん】

①前から介護福祉士を取りたかったのですが埼玉のぞみの園で取れると知り飛びつきました！
②がんばります！

【N・Mさん】

①子どもが高校受験で親子で試験を頑張ればと思いました。身内の介助にも役立てたい。
②スクーリングの試験に合格して介護福祉士試験に挑戦できたらと思います。

【受講生にインタビューしてみました！】

①受講したきっかけは？

②今後の意気込み！

※名前はイニシャルでの掲載となります。ご了承下さい

【H・Nさん】

①介護福祉士の資格を取得したい。介護について知識と実践を身に着きたいです。
②ちゃんと勉強して全力で頑張ります。

【T・Kさん】

①業務の役に立つと思ったから。
②学んだことを還元していけたらと思います。

【Y・Yさん】

①介護に関する知識を深めたい。
②知識を周囲の人や社会に応用したい。

【M・Sさん】

①介護福祉士の受験のため
②知識を身に付けて根拠ある支援をしていきたい。

【T・Iさん】

①介護技術を学びたいと思ったから。
②介護福祉士を取れるように頑張ります。



100万人のクラシックライブ IN 春日園

塗り絵コラム

今回も沢山のご応募ありがとうございました！皆様、カラフルな色合いで素敵に動物を塗ってくれていました。理事長に決めていただいた、優秀作品を2つご紹介です！作画1名、塗っていただいた2名には優秀賞の品をお送ります。お楽しみに☆



春日園
ユルヤスリ 職員
背景まで凝っていて
華やかですね！

春日園
藤澤 有希子 職員
それぞれの模様が
可愛いですね♡



城人マジカル城へようこそ
ご主人といっしょ

新門祐次

第41号の塗り絵は、妻沼つくし 新門祐次さんに描いていただきました。メルヘンな法人マジカル城行ってみたいですね♪

締め切りは 10/31(木) まで！
各事業所の広報委員へお願いいたします。

『日常に音楽があふれる施設をめざして』

はじまりは一本の電話でした。13年前に入居されていた山本潔様のご家族から、「春日園へコンサートをプレゼントしたい」といった驚きの内容でした。のどかな春日園でクラシックの生演奏が響くことを目標に準備をすすめ、当日6月29日には、法人内外の約130名の方が、クラシックの音色を楽しみました。午前の第1部は有名な情熱大陸ではじまり、リクエスト曲も含め5曲。午後の第2部は曲目がガラッとかわり、チャルダッシュなどの大人向けのゴージャスな演奏でした。



山本毅さん

障害と音楽は相性がいいようで、特にダウン症の方やお子さん達は身体をゆらして全身で音楽を感じていました。歩き出してしまうか心配なご利用者も、立ち上がることなくバイオリンとピアノの音に聞き入っている姿が印象的でした。



弟の山本毅(たけし)様より『潔君は春日園が大好きでした』とスピーチの中でお話があり、私共施設が担っているご利用者達の日々の暮らしについて、大きな責任を改めて感じました。山本様のお気持ちに思わず涙する職員もいました。

一般財団法人100万人のクラシックライブの活動は音楽を至近距離で聴き、心を震わせる感動を共有することで、「人と人をつなぐ」場をつくることを目的の一つとしています。今回地域の方にも回覧板にてご招待をさせていただきました。次回も一緒に名演奏をたのしみましょう。



春日園施設長 齊藤千穂

『令和6年度報酬単価改定に思う』

梅雨が明け、猛暑も続き次は台風が心配な季節になり天気予報が気になる今日この頃…
さて、今年度は3年ごとの障害福祉サービス報酬単価の改定の年であり、国の発表では障害福祉においては1.12%の増額とされています。しかし、世界的な諸物価の高騰は留まることがなく、法人においても焼け石に水的な感がなくありません。加えて、今回の単価改定は今までの福祉サービスを単に継続すればよいというものではなく、国が打ち出した方向性をいかに実践できるかが問われるものとなっています。

最近あまり聞かなくなりましたが「ノーマライゼーション」という考え方があります。これは簡単に言えば、障害があろうとなかろうと共に生きる社会を構築していくというのですが、今回厚労省は入所施設からの地域移行、就労系事業所においては一般就労へのチャレンジという点を強く打ち出しているように感じます。入所施設は今まではどちらかというと安心安全に主眼が置かれ、就労系事業所は保護的作業所然という空気感の中にあっただと感じます。もちろん安心安全もある程度の保護も大切なことです。しかし、これからはそうした捉え方だけではなく、それらをベースにしつつ一般社会で多少のリスクを負いながらも日々生活を送る、こうしたことが考え方の基本になるようです。

今回の改定では、例えば入所施設からグループホーム（GH）へ移り、地域の福祉サービスを活用しながら生活する、更にはGHから一般住宅へ移り住んで生活し、可能ならば一般企業における福祉的就労機会を活用していく、そうした方向性を打ち出しているように思います。

これは利用される皆さん、そして事業者側も共に向かうべき方向のようです。ただ私個人としては、入所施設も通所事業所も社会の一部であると捉えています。そのために施設事業所はいかにして地域と融合していき社会の一部となっていくかが大切になるのです。埼玉のぞみの園はそのために何をしていくか、これが問われる時代なのです。

法人は今日まで近隣地域の皆様とその時々可能な形で関わり方を大切に参りました。この姿勢を基本として、今後どのような繋がり方をしていけばよいのかを様々に模索しながら日々を歩んでいく必要があると考えます。決して利用者の皆様の困り込むことなく、世の中を俯瞰していかなければ、そう思います。



理事長 椋澤 正範

地域貢献活動（ゴミ拾い）



6月には法人全体で地域貢献活動として各施設周辺のゴミ拾いを行っています。地域の皆様が気持ちよく過ごせるようこれからも活動を続けていきたいと思ひます。

ペットボトルキャップ回収しています

埼玉のぞみの園では毎年ペットボトルキャップの回収に取り組んでおります。2023年度は152.4kgが集まりました。（前回は137.6kg）年々増加傾向にあります。たくさんのペットボトルキャップは市内の小中学校の学校教育に貢献します。引き続きご協力お願い致します。



春陽の里

宇都宮旅行

春陽の里では、初となる日帰り旅行に行ってきました！宇都宮餃子を食べ、大谷資料館、大谷寺・大谷観音へ！とても大きな大仏や資料館を見学し、たくさんの事を学ぶ事が出来ました！プリンソフトの大きさにびっくりしたり、お土産も購入！ご利用者の楽しそうな笑顔をたくさん見る事が出来ました。（吉田）



羊の毛刈りショー & 餃やり体験

4月に羊の毛刈りショー&餃やり体験を行いました！とても可愛い動物達に皆さん興味津々！初めての体験に少し戸惑いもありましたが「可愛い！」と皆さん笑顔でふれあっていました。途中、うさぎが柵から逃げ出してしまう場面も！ハプニングもありながらとても楽しいイベントになりました（吉田）



合同

6/12にワモア川本にて春陽の里と第2春日園のご利用者による合同クッキングを開催しました！自分たちで頑張って作ったデザートは格別！クッキングを通して皆さんの交流を持つことができました！（吉田）



イベント紹介

ホーム



5月11日（土）晴天の中、ホーム初めてのプチ旅行を行いました。BBQと日帰り温泉の企画です。それぞれ参加の希望を聞き、10名のご利用者が行ける事ができました。BBQでは、日頃会う事のないご利用者に別のホームのご利用者が焼き上がったお肉を持って行って下さるおかげで、満腹になったと笑顔で会話しておられる場面が見られました。続いて、熊谷の大きな日帰り温泉に移動です。貸し切り個室で一息ついた後は、お部屋のお風呂に入る方、職員と大浴場に行かれる方、温泉内のカフェでスイーツを堪能される方で、思い思いに過ごされました。時折、他ご利用者の事を気にされ、何歳なの？どこのホームだっけ？や、芸能人の誰かに似てるなど、興味深く気にされているご利用者もおられました。帰りの車内では、また行きたい！美味しいお肉を食べた温泉に入って幸せ！と、皆さん仰っていました。（原口）



妻沼つくし



伊豆潮風館に一泊二日の旅行を行いました。コロナの影響もあり数年ぶりの一泊旅行となりました。又、前年度定員変更を行い新規利用者も増え、多くの利用者に参加してもらいたいことからリーズナブルでイメージの付きやすい場所を選びました。今回の旅行の参加者は、ご利用者の他にご家族も対象とさせて頂きました。コロナ禍になってから事業所とご家族が関わる機会が少なくなってきたことやご家族だけで旅行をすることに不安があることを聞き事業所として協力できることを考えた結果です。旅行の1日目は、三津シーパラダイスに寄ってからその後、潮風館で宿泊をしました。シーパラダイスではイルカショーや宴会場での夕食が楽しめました。2日目は伊豆の国パノラマパークと伊豆フルーツパークに行き、パノラマパークではロープウェイに乗り山頂から目の前に広がる富士山や駿河湾を一望でき展望を楽しめた様子です。最後に、楽しかったことや大変だったこと、時には失敗してしまったこと等を聞くことができ、一泊旅行を行ってよかったと思ひました。是非来年も工夫をしながら一泊旅行を行いたいと思ひます。（鯨井）

